



北斎晩年の傑作「八方説み鳳凰図」

曹洞宗梅洞山「岩松院」天井絵

本堂内の大間、21 畳の大きさの極彩色の天井絵。江戸末期、嘉永元年(1848) 北斎89歳、晩年最大の作品。岩絵具は中国より輸入した辰砂・孔雀石・鶏冠石などの鉱石を用い、その価は150両。金箔を4400 枚使用し、色彩・光沢は今も鮮やか。 026(247)5504



岩松院仁王門

高井鴻山記念館

高井鴻山は北信濃有数の豪商で、幕末維新の激動期に時局に対応しつつ“国利民福”の信条を貫いた人です。佐久間象山など当時の思想家と交わり、また北斎ら多くの文人墨客を招いて地域文化の向上を図りました。館内には鴻山や知友の書画遺品が展示され、一弦琴の体験ができます。また、「脩然楼」は、かつて北斎はじめ多くの文化人で賑わった、鴻山の書斎兼サロンです。

026(247) 4049



「脩然楼」(町史跡)の二階



高井鴻山筆「象と唐人図」(四曲屏風)



小布施へのアクセス

- 電車の場合 (JR+長野電鉄) JRで

●東京方面から			
(新幹線で)	東京	1時間30分	長野
●関西方面から	大阪	4時間	長野
●中京方面から	名古屋	3時間	長野
●北陸方面から			
(新幹線で)	金沢	1時間	長野
●新潟方面から			
(新幹線で)	新潟	2時間	長野
長野電鉄で……	長野	35分	小布施
	小布施	30分	湯田中

- 車の場合
- 上信越自動車道「小布施スマートIC」から5分 (ETC専用)
- 上信越自動車道「信州中野IC」から7分
- 上信越自動車道「須坂長野東IC」から15分
- 国道18号線「豊野」信号から5分

●お問い合わせ

小布施文化観光協会

〒381-0201

長野県上高井郡小布施町大字小布施1497-2 (小布施駅舎内)

TEL:026-214-6300 FAX:026-214-6363

http://www.obusekanko.jp/

e-mail:kanko-information@obusekanko.jp

小布施町役場

〒381-0297 長野県上高井郡小布施町大字小布施1491-2

TEL:026-247-3111 (代)

http://www.town.obuse.nagano.jp

e-mail:obuse@town.obuse.nagano.jp

2019.11.21

OBUSE OFFICIAL GUIDE

信州

おぶせ

栗と北斎と花のまち

小布施観光案内帖



上町祭屋台天井絵「怒濤」図 (男浪)

北斎

Hokusai



北斎が愛した町、小布施の「アート浪漫」

天保年間、江戸日本橋で呉服商を営む小布施出身の十八屋を介して、高井鴻山が浮世絵師葛飾北斎と出会います。数年後、鴻山は北斎を小布施へ招きます。北斎が83歳の秋でした。以後、北斎は都合4回小布施を訪れ、晩年の集大成である肉筆画に全力を注ぎ込みました。当時の小布施は北信濃の経済の中心地として栄え、小布施文化の華開いた時代でした。



画狂老人 葛飾北斎肉筆画の世界「北斎館」

昭和51年、町内に遺されている北斎作品の散逸を防ぎ、収蔵・公開するための美術館として建設。小布施滞在中に描いた肉筆画40余点の他、二台の祭り屋台を常設展示。龍と鳳凰、男浪・女浪の怒濤図が時代を経た今も美しい色彩をとどめています。 026(247)5206



「樹雲淡墨桜」中島千波

美術館



古刹



花のまちづくり



食



「おぶせミュージアム・中島千波館」

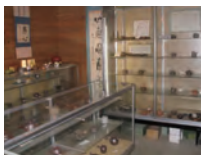
小布施生まれの日本画家の中島千波館、企画展を行う第一、第二展示室、祭り屋台を展示する屋台蔵、さまざまに活用されている木造館で構成。ショップや喫茶室もあります。 026(247)6111



日本のあかり博物館
江戸から大正初期の和製灯火具を展示。 026(247)5669



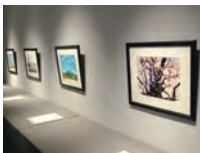
小さな栗の木美術館
土蔵を改造。桜井佐七氏の個人コレクション。 026(247)5166



急須コレクション「茶俚庵」
幕末・明治初期から現代の茶器300点を展示。 090(4009)8353



古陶磁コレクション「了庵」
個人博物館。日本の古陶磁を年代順に常設展示。 026(247)5866



おぶせ藤岡牧夫美術館
絵本作家・藤岡牧夫さんの原画を展示。 026(247)5461



歴史民俗資料館
小布施の考古資料、生活用具、産業用道具を展示。 026(247)4927



雁田の薬師さん「浄光寺」

室町時代初期の代表的建築物で国の重要文化財に指定されています。薬師如来座像、十二神将、薬師堂壁画、金銅仏など多くの文化財が収められています。 026(247)3924



禅宗の古刹「玄照寺」
玄照寺の前身が創立されたのは、今から約600年前。その後武田信玄の重臣高坂弾正により現在の寺号になりました。三門には金剛力士像が立ち、町の文化財に指定されています。 026(247)2100



高井家菩提寺「祥雲寺」
高井鴻山のお墓があります。愛用した柄が1.5mの太筆や妖怪画、書などが遺されています。また、小林聖花 作の大間天井絵「心字混沙門龍図」が15畳敷きの広さに描かれています。 026(247)3256



「新生病院礼拝堂」
昭和7年に設立。作家、福永武彦も療養生活を送りました。ツタのからまる礼拝堂は一般の人にも開かれた教会です。玄関のステンドグラスには、小布施の栗とりんごが描かれています。 026(247)2033



栗の小径
北斎館と鴻山館の傍らに、名産の栗の角材を敷き詰めました。木の感触が足に優しいやすらぎの小径。北斎や鴻山が歩いた道です。



陣屋小路
江戸時代中期、幕府の天領として代官所が置かれていました。陣屋小路を陣屋稲荷まで歩くと、石の祠が往時そのままの姿で残されています。



「フローラルガーデンおぶせ」

15000㎡の敷地を彩る花壇、築山、芝生の広場。四季折々に花が咲き、年間を通して多くの来訪者で賑わっています。 026(247)5487



千曲川河川公園（含、千曲川ふれあい公園）

上信越自動車道と並行する千曲川堤防上には、全長4km、約600本の八重桜の並木があり、「桜堤」の名で多くの方に親しまれています。また、堤防下には、ハナモモ、菜の花、ソメイヨシノなどの花木が植えられた美しい広場があり、地域のふれあい公園として、お花見の場として、見頃を迎える春は、特に人気の観光スポットとなっています。



花を通じた交流「オープンガーデン」

個人が育てた庭園を公開しています。専門家が手がけた庭ではなく、住む人が楽しみながら、心を込めてつくった庭です。来訪者への歓迎の気持ちを表しています。



小布施には古くから受け継がれた郷土料理や、小布施の風土が育てた「小布施丸なす」、「小布施栗」など特産の農作物が多くあります。「そこにしかない、そこでしか味わえない」ものを大切にする食の産業を育成しています。



小布施屋

町振興公社が運営する、小布施の農産物や特産品などを販売する店。6次産業センター内にあります。とれたての野菜や果物、オリジナルの「リンゴ酢」などが並んでいます。 026(242)6600



小布施栗

栗の歴史は600余年とも言われ、江戸時代は将軍家への献上品でした。今では栗かのこなど様々な銘菓となっています。



ガーデンレストラン「OBUSE花屋」

窓越しにフローラルガーデンを臨むレストラン。地元産の素材を吟味した創作料理が楽しめます。



小布施の造り酒屋

小布施には造り酒屋が4軒あり、小布施の良質な水と米、恵まれた気候のもと、熟成された美味しい日本酒が造られています。



オブセ牛乳

昔から愛されてきた町の牛乳屋さん。素材を生かして低温殺菌処理した牛乳は、生そのままのコクと風味。

小径



個性的なギャラリー

●ガラススタジオ Licco 026(247)2754

●ぎやらりい蔵 026(251)4033

●ギャラリー唐十郎 090(4721)4971

●栗日記ぎやらりー 026(247)3090

●ギャラリー小布je 026(242)6882

●Art & Craft よしのや 026(242)6606